✓ 杏林大学病院ニュース

発行 2022年10月

地域医療の充実をめざして関係機関の皆さまとともに

Contents

表

- ・中央病棟手術室を増築
- ・第6回医療連携フォーラムのご案内

真

- · 診療科紹介
- · 2022 年 10 月就任教授紹介
- ・2022 年度診療案内を発行
- ・当院の診療体制について
- ・市民講座「学びの杜」を公開



編集: 杏林大学医学部付属病院 〒 181-8611 三鷹市新川 6-20-2 TeL 0422-47-5511 (代表) https://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/

診療拡充のため中央病棟手術室を増築







■ 増築された手術室の特長

増加する手術のニーズに応えるため、2021年から進めてきた中央病棟2階の中央手術室の増築工事が完了し、7月5日から運用が開始されました。今回、高度な手術を行うハイブリッド手術室1室を含む3室を増築し、当院全体の手術室数は24になりました。これより当院として一層円滑な手術運営を進め、診療を拡充させていきます。

増築された手術室の室内は明るく、廊下は光が差し込むよう設計されています。また、多数の物品や機材を必要とする手術がスムーズに行えるよう、これまでよりゆとりのある空間になっています。さらに、高い清浄度を保ち、陰圧、陽圧などの圧調整が可能なため、新型コロナウイルスを含めた感染症患者の手術をより安全に行うことができるようになりました。

■ 新機能を備えたハイブリッド手術室を導入

当院で2室目となる今回導入されたハイブリッド手術室は、「Stealth Station™」という、術前のCT画像と 術中の画像を合体させることで、腫瘍などの患部までをナビゲーションするシステムが搭載されています。CT 機能、手術室、ナビゲーションシステムの3つの機能が備わった手術室は、東日本で初めての導入となります。 また、搭載されている血管撮影装置は、CTに匹敵する大視野で高画質な3D画像を撮影することができるほ か、心臓の拍動などを動画として観ることができる4D画像化にも対応しています。それにより治療の安全性 や効率性が向上されます。また、被ばく量も軽減されるため患者さんの負担を軽減することができます。新し いハイブリッド手術室は機能が拡張したことで、循環器系や形成外科の他、広い範囲で活用していきます。

杏林大学医学部付属病院第6回医療連携フォーラム

当院では、地域の医療従事者の皆様との連携をより一層深めるため、医療連携フォーラムを開催しています。 皆様のご参加をお待ちしております。 (患者支援センター 地域医療連携)

開催日程: 11月17日(木) 19時~20時 WEB 開催

プログラム:近藤晴彦病院長挨拶、来賓挨拶(三鷹市医師会会長 内原正勝氏)、

患者支援センター紹介、

診療科紹介〔呼吸器・甲状腺外科 ~ 呼吸器領域における低侵襲・ロボット支援下手術: 当科の取り組み〕

〔脳神経外科 ~ 脳を知る、守る、育む〕、

患者支援センターとの質疑応答、閉会挨拶



診療科紹介



教授・診療科長 大山 学 皮膚科一般 脱毛症・水疱症・ 再生医療・皮膚腫瘍



臨床教授・外来医長 水川 良子 皮膚科一般 薬剤アレルギー・アトピー性皮膚炎・ 発汗障害・皮膚免疫

皮膚科



講師・医局長 倉田 麻衣子 皮膚科一般 皮膚アノルキー疾患・ 皮膚感染症・乾癬

皮膚科では「皮膚に生じた全てのトラブルに対応する」をモットーに、主として多摩地区における医療ニーズに応えるべく、幅広い皮膚疾患に対応できる体制を構築しています。また、特に力を入れている領域の疾患については、大学病院・特定機能病院に相応しい最新かつ高度な診療技術を提供するように務めています。

コロナ禍の影響もあり患者数は若干減少していますが、それでも地域の先生方のご紹介などのお力添えにより、年間の初診患者数は約3,000名、延べでは30,000名を超える患者さん方が通院されています。日頃からサポートいただき誠にありがとうございます。

当科が特に専門とする疾患は、薬疹・アトピー性皮膚炎・乾癬などのアレルギー・炎症性皮膚疾患、脱毛症や発汗障害といった毛包や汗腺などの傷害による皮膚付属器疾患、皮膚(悪性)腫瘍です。特に、皮膚付属器疾患は得意とする施設がごく限られることから、多摩地域のみならず遠方からも多くの患者さん達が受診されています。進歩のめざましい、分子標的薬、生物学的製剤、免疫チェックポイント阻害薬なども積極的に治療に活用しています。

当科は伝統的に、基礎・臨床研究で得られた知見を臨床の現場に還元することに力を入れてきました。そうした情報を共有するため研究会なども開催させていただいております。当科一同、引き続き地域連携に力を入れていく所存です。宜しくお願い申し上げます。

2022 年 10 月就任 教授紹介



腫瘍内科 廣中 秀一

旭川医科大学医学部卒業 博士(医学) 旭川医科大学附属病院、国立がんセンター東病院、静岡県立 静岡がんセンター、千葉県がんセンター、大分大学医学部、 埼玉医科大学国際医療センターなどを経て、2022 年 10 月 杏林大学着任

日本人死因の第一位であるがんに対する診療に際して、患者さんを思いやり、患者さんの権利を尊重し、家族にも配慮した最善の医療を提供します。さらに、その実行に必須である地域の医療機関の皆様との連携を通じて、多摩地区のがん医療の発展に貢献します。今後とも御指導・御鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2022 年度 診療案内を発行



冊子をご希望の際は、患者支援センター 地域医療連携にご連絡ください。 TEL: 0422-47-5511 (内線 5147)

■■ 当院の診療体制について ■■

新型コロナウイルス感染症の拡大状況などに応じて、ご紹介患者の受入れに一部制限や条件を設けている診療科もあります。詳細は、当院 HP「医療関係者向けのお知らせ」をご参照ください。

今後も万全を期した上で、最善の医療の提供に努めて参りますので、ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



乳がん診療の最前線

市民講座 学びの杜 ケーブル TV & HP で公開



2021 年度から杏林大学・医学部付属病院の特色を活かした市民講座 "学びの杜"をケーブル TV J:COM 武蔵野・三鷹で放送しています。 また、放送後の動画は、大学・病院 HP でもご覧いただけます。

【2022 年度医療健康系講座一覧】 アイフレイルを知ろう アイセンター 山田昌和 教授 子どもの食物アレルギー 小児科 成田雅美 教授 高齢者の腰と背骨 整形外科 細金直文 教授 高齢者のための障害予防リハビリテーション 保健学部 岡島康友 学部長

乳腺外科

井本 滋 教授